

上田真由助教が日本臨床内分泌病理学会「最優秀賞」を受賞

令和6年10月11日から12日に開催された第28回日本臨床内分泌病理学会学術総会において、上田真由助教(原研病理)が「甲状腺がん遺伝子パネルによる低分化成分を伴う結節内結節型良性甲状腺結節の特徴解析」の研究成果を発表し、最優秀賞を受賞しました。

同賞は、日本臨床内分泌病理学会より、内分泌病理学に関連する臨床的あるいは基礎的研究の中で、最も優れた研究を対象に授与されるものです。

Assistant Professor Mayu Ueda, Department of Tumor and Diagnostic Pathology, was awarded the Distinguished Investigator at the 28th Japan Endocrine Pathology Society on October 11-12, 2024.

